

下水道と東毛広域幹線道路へのアクセス道路の整備を

町田 むねひろ 議員



Q 群馬県の2007年度末の汚水処理人口普及率は68・5%（全国37位）で、全国平均の83・7%を大きく下回っている。このため、県は2017年度の同普及率の目標を90%と定め、補助を今後5年間

継続して、市町村の事業推進を促すこととなった。玉村町の普及率は、県央汚水処理施設があ

Q 東毛広域幹線道路にアクセスする道路の整備と、スマートIC周辺

るにもかかわらず66・5%で、県よりも低い。汚水処理人口普及率は、文化レベルを表すバロメーターとも言われている。県の施策を最大限に活用し、下水道整備を強力に推進されたい。

A 町長 区長や地元住民の意見・要望を聞きながら、平成23年度以降の事業認可へ向けて検討したい。

を含む沿線の開発について、どのように考えているか。

A 町長 アクセス道路は、早急に改良しなければならぬと考えている。改良工事の優先順位は、地域住民の意見を十分に反映し、決めていきたい。また、スマートIC周辺を含む沿線の開発については、第5次総合計画や都市計画マスタープランの中で具体的な土地利用を検討していきたい。

Q アクセス道路の整備と沿線開発とは密接不可分である。一体のものとして総合的に検討し、第5次総合計画や都市計画マスタープランに反映させるべきでは。

A 町長 町田議員の考



県央水質浄化センター

不況対策に万全を期せ 上陽小学校の耐震化改修を急げ

宇津木 治宣 議員



Q 安心して「暮らし、働

A 町長 不況対策を設け、様々な施策を展開した。相談窓口では、雇用、住宅、生

活資金、納税、多重債務、倒産による未払い、雇用保険などで延べ23人から相談を受けた。町臨時職員の雇用や町営住宅の緊急提供などに対応している。

Q 中小業者の資金繰り対策は万全か。

A 町長 国の地域活性化・経済危機対策臨時交付金に基づく事業を実施する。町としても区からの要望などに対応した小規模工事を発注し、町内事業者の受注機会を増やす。

A 町長 真に切迫している人を、もれなく救済したい。すでに、資格証世帯の子ども27人に短期保険証を交付した。

Q 上陽小学校の耐震化改修を急げ。



耐震化・大規模改修される上陽小学校

※汚水処理人口普及率：総人口に占める汚水処理施設（公共下水道、浄化槽、農業集落排水施設など）を利用可能な人の割合。下水道管が家の前まで来ているが、利用していない人の数も含む。